平成２５年度東京同窓会総会懇親会開催によせて

東京同窓会長　小林務（E-33）

今年も東京同窓会を開催する事が出来ました事に心から感謝申し上げます。本日の開催にあたり、参加戴きました同窓会員の皆様、遠路よりまたご多忙にも拘わらずご臨席賜りました保坂精治本部同窓会会長様、斉藤与学校長様初め多数のご来賓の皆様、また物心両面から支えて戴き賛助と協賛の支援を賜りました皆様、開催準備に日夜ご尽力されました幹事諸兄、多数のご関係の皆様に心より厚くお礼申しあげます

さて、ここ数年の東京同窓会の傾向としまして総会参加者の減少に幹事一同頭を痛めております。要因は幾つか考えられますが、同窓会に最も関心をもたれる年代の高齢化、また母校卒業生の進路選択に半数前後の卒業生は大学専門学校等上級学校に進学され、就職希望の卒業生の就職先の大半が県内の為、県外首都圏への就職者の激減等があり、平成に入り顕著に表れています。この様な環境のなかでも幹事一同、より多く会員各位に総会参加戴きたいとの思いに努力を重ねております、今年はコストアップも覚悟の上で知恵を絞り、ホームページ立ち上げによる会員宛て情報発信、東京同窓会として初めての封書によるご案内及び総会誌充実の一環として「我が思い出を綴る」コーナー新設による皆様からの投稿掲載等諸々対策は講じておりますが現状ではなお厳しい状況でございます。

どうぞ本日ご臨席戴きました皆さまには引き続き同窓会により高い関心とご理解・ご協力を賜わり、貴重な情報・お知恵も拝借戴きながら東京同窓会と母校発展に微力ながら幹事一同尽力致す所存です。

終わりに、本日お集まりの皆様の益々のご健勝と母校の更なる発展を祈念申し上げます。

以上